

評価委員会委員からいただいた主な意見

点検・評価の客観性を確保する観点から、岸和田市教育委員会評価委員会各委員から点検・評価に関して以下のご意見をいただきました。

頂きましたご意見に対しますシートの修正や考え方について、記載（**網掛け**）しております。

○教育総務部 総務課 他○

項目番号 10 教員の業務負担軽減に向けた取組の推進

特になし

○教育総務部 学校適正配置推進課○

項目番号 9 小・中学校の適正規模・適正配置の推進

特になし

○教育総務部 学校給食課○

項目番号 6 学校給食運営の充実

◇ 市費負担経費節減について、約 16%の節減ができておりますので「目標を上回る」成果とも考えられますので、評価に関しまして、再度ご検討下さい。

⇒給食調理業務を民間委託することでの経費削減は一定程度あるものと考えています。

しかし、その効果は人件費やその他物価の高騰で年々減少しているのも事実です。

過去の数値を見ますと、令和になって以降も20%程度の節減効果をだしていましたが、最近の物価上昇や人件費高騰などを鑑みますと、概ね目標通りであると判断いたしました。

○教育総務部 学校管理課○

項目番号 8 長寿命化計画に基づく教育環境の改善

特になし

○教育総務部 産業高校学務課○

項目番号 3 産業教育の充実

特になし

○学校教育部 学校教育課○

項目番号 1 授業の改善・読書活動の充実

◇ 放課後学習支援事業・学びの土台づくり推進事業は、個別のテスト等では着実な成果を出しているが、他の指標（非認知能力[勉強は楽しい・勉強はよくわかる]・・・等）への波及はみられるのか、現状と同事業の成果を広げていくための今後の方向性をお聞きしたい。

⇒例えば、「国語の勉強は好きですか」等の非認知能力への波及については、各学校の校内研究や授業改善、少人数指導の状況など、様々な要因が影響していると考えられるため、2事業だけの成果とは言えないと考えております。

令和6年度より、放課後学習支援事業については対象学年を3年生から6年生に拡充、学びの土台づくり推進事業については対象学年を効果の高い全市幼稚園5歳児と小学校1～4年生に重点化し、全小学校、幼稚園に拡充しております。全市で実施する中で学力指標の推移を確認しながら、事業の方向性を検討したいと考えております。

◇ 学びの土台づくりについて、その他の取組がありましたら教えてください。

⇒各校の実情に応じて、立腰や朝読書等、様々な取組を行っております。

項目番号5 生徒指導体制・教育相談体制の充実

◇ 気になったのが、暴力行為が増加傾向にあることでした。

保護者との連携など様々な対応をされていることは良くわかります。

今の子どもたちはコミュニケーション術を学ぶ機会も必要ではないでしょうか。

アンガーマネジメントや伝える力（アサーション）などをコグトレのように継続的に学ぶことも必要かもしれないと感じました。

⇒暴力行為等の問題行動に対する指導だけではなく、予防的な指導や、児童生徒の発達を支える指導も重要であると考えております。コミュニケーションを高める取り組みの推進など、全ての児童生徒が安心・安全に学校生活を送れるように注力してまいります。

《施策・事業に対する意見等》

- 現場の先生方が日々の子どもの様子を丁寧に把握し、接している成果だと思えます。ありがとうございます。不登校の数字が増えていないことは、素晴らしいことだと思います。
- 文部科学省では、不登校を減らすことが目的ではないと言っています。総括評価が「目標を下回る」となっていますが、解消率を拝見いたしますと、現場の先生方が真摯に取り組まれている結果だと受けとめています。「目標通り」と書きにくいということは重々分かります。学校現場にもより丁寧な情報発信をお願いします。
- 方向性につきまして、色々と書かれているなかで、SC、SSWの配置とありますが、SC、SSWが全ての項目をこなせるか心配です。学校現場の負担にならないようにご配慮をお願いします。

項目番号7 体力向上の取組の推進

◇ 岸和田市水泳指導業務委託（29 学校園で実施）とありますが、どこに委託したのか、明記してほしい。

◇ 幼・小・中の水泳指導の業務委託を令和5年度は5中学校区、1小学校区の29園で実施をしたが、令和6年度はさらに4学校園を加えた33学校園に拡充して実施する。とありますが、出来ればどこの校区なのかわかるようにしてほしい。

⇒1 点目、2 点目については、いただいたご意見のとおり、「点検・評価シート」を修正いたしました。15 ページ、『5. 令和 5 年度の取り組み内容』の欄の一番下に委託業者名と実施校区、16 ページ、『7. 今後の課題・方向性』の欄の下から 3 行目に追加実施校を記載しました。

- ◇ 予算ベースで考えると、学校水泳業務委託の拡充がなされていますが、この事業と児童生徒の体力の向上との関連はありますか。水泳の業務委託は教職員の業務改善の視点もあると思いますので、その点の整理をお願いします。

⇒学校水泳業務委託事業は、児童生徒の体力の向上との関連があると考えており、まずは子どもたちの教育効果を事業目的の中心としております。

○学校教育部 人権教育課○

項目番号 2 「あゆみファイル」の活用

- ◇ 可能であれば、支援員、特別支援教育支援員の配置について、直近数年間の経年配置数を記載してほしい。

⇒介助員につきましては、令和 3 年度・4 年度 4 人、令和 5 年度 9 人配置しております。また、特別支援教育支援員につきましては、令和 3 年度 44 人、令和 4 年度・5 年度は 55 人の配置しております。

項目番号 4 研修・啓発の充実

- ◇「母語指導・通訳者や日本語指導補助員の派遣」に関する現状と課題及び「今後の方向性」について、もう少しお聞かせ願いたい。

⇒市内の日本語指導が必要な児童生徒数は、令和 4 年度 59 名でありましたが、令和 5 年度は 69 名で増加し、通訳対応言語が 12 か国語の言語が必要です。しかし、急な転入があり、言語面での支援や生活面での支援等、対応に急を要することや少数言語で通訳の確保が難しいことが課題と考えております。「今後の方向性」ですが、子どもの状況に応じた日本語指導の時間を確保するために、通訳や国際親善協会からの補助員の方の派遣回数充実に努めていきたいと考えております。

- ◇ 同施策に関して、新たに成果指標を定めるかどうかは担当課のご判断だと思うが、現時点でのお考えについて、可能であればお聞かせ願いたい。

⇒日本語指導が必要な児童生徒が増えていることから「母語指導・通訳者や日本語指導補助員の派遣」等の取組について効果の把握を行い、新たな成果指標を定めていきたいと考えています。

- ◇ 予算増になっている「母語指導・通訳者や日本語指導補助員の派遣」に対する成果指標はどのように示されますか。

⇒母語指導・通訳者や日本語指導補助員の配置校から教育的効果や満足度に関する意見を聴取し、成果指標として示していきたいと考えております。

○生涯学習部 生涯学習課○

項目番号 11 生涯学習基本方針の推進

特になし

項目番号 12 学び舎プログラムの実施

特になし

○生涯学習部 スポーツ振興課○

項目番号 15 部活動地域移行の推進

- ◇ 地域と部活動とのコーディネートご苦労様です。本市らしさを活かした部活動で、気になった点がありました。施設を活かした部活動は良いと思いますが、どれも岸和田の浜手側に多く、山手側の学生が参加しにくいのではと感じました。山手側に施設は少ないと思いますが、工夫していただけると嬉しく思います。

⇒本市では、これまで、久米田高校のダンス部が全国優勝を果たすとともに、地元出身のオリンピックがスポーツクライミングで、素晴らしい実績を残されています。

また、2027年にはワールドマスターズゲームズ2027 関西 BMX レーシングの競技大会が本市で開催予定であることから、これらの競技スポーツを念頭に、スポーツクライミング施設やサイクルピア岸和田 BMX コースを活用した部活動の実施に向け、取り組んだものでございます。

委員ご指摘のように、施設が浜側に偏っており、山手の方が参加しづらかったとも考えられますが、現状では、山手に同様の施設がないため、今後、移動手段等についての検証も必要と考えています。

項目番号 16 社会体育施設の適切な管理運営と計画的な施設整備

特になし

○生涯学習部 郷土文化課○

項目番号 17 市内文化財を活用した普及行事の開催

- ◇ 「7. 今後の方向性」の内容も妥当と考えますが、岸和田城の整備費用以外について「～工夫だけでなく」「よりよい」「強化し」と言う部分も「拡充」とするならば、適切な予算等は確保できているのでしょうか。可能な範囲でお聞かせねがいたい。

⇒拡充策については、子ども向けの展示解説会の実施や、展示を見学するだけでなく、甲冑など実際に着用して体感してもらうこと、学校園に対しても座学だけでなく、甲冑、火縄銃、駕籠などを用いた体験型出前授業の実施、またコロナ禍で中断していた城での職業体験を実施するなど、予算を伴わない方法も検討しているところです。

項目番号 18 屋内外における多彩な行事の開催

- ◇ 「7. 今後の方向性」が「拡充」とあるが、多くの事業で「引き続き」とあり、唯一「未就学児ターゲット」事業で「より効果的」とあるが、どの部分が「拡充」なのか、可能な範囲でお聞かせ願いたい。

⇒令和5年度には、生涯学習課、図書館と未就学児むけの合同企画を1回実施しました。令和6年度は5回を予定しており回数が増えるだけでなく、合同での企画となることで生涯学習部が行う家庭教育支援として各館の取組や子育て知識、支援情報をより効果的に知ってもらうことができると考え拡充としました。

○生涯学習部 図書館○

項目番号 13 子どもの読書活動の推進

- ◇ 保育所の件ですが、お話を保育所で開催されても良いのではと思いました。

絵本の読み聞かせは保育士さんも上手にされていることは理解しておりますが、保育児は、日常的には、地域の方々とふれあい機会が少ないと思いますので、お話会を通して、地域の方々とふれあいがうまれますし、保育児も新鮮な気持ちで本に出会えると思います。本へ関心も生まれるのではないかと思います。

それに スタッフの方々やボランティアの読み聞かせは、とても楽しく引き込まれるので、一人でも多くの幼児に体験してほしいと単純に思いました

担当課も異なり難しいことは承知しておりますが、ご検討いただけると幸いです。

⇒「おはなし会」を市内の保育所に出向いて行うことについては、図書館で活動されている団体へ働きかけを行います。

項目番号 14 資料の収集・整理・保存、及び郷土資料の整理・データ化の推進

特になし